

支笏湖 シリセツナイ山 (533m)

日時 平成31年2月16日(土)

天候 曇りのち晴れ

参加者 (CL)澤田(SL)山岸(SL)相馬、藤木(た)、
笹山、門馬、及川、津川、川村、栗山、近藤、長沼、八重樫
14名

7:30 岡志別の森公園出発。

雲っているせいか中々明るくならない。午後から晴
れの予報です、本日登る山は初めての山“シリセツナ
イ山”。面白いネーミング。標高差240.7mを登る。

9:10 支笏湖小学校 着。

湖畔では氷濤まつりの最中で除雪はバッチリ。小学
校に設けられた駐車場を利用させてもらう。



9:35 校舎裏の方より登り始める。取り付きから案外、
急登が続く。30分も歩くと汗が吹き出てくる。今日は
久しぶりにプラスの気温。体温調整をして、先頭交替
で登っていく。グラニュー糖の様な雪は、スノーシュー
の“は”が効かない時もあり、ズルズルと滑り、ト
ップは苦戦している。



10:20 (標高467m) 小休止。

ところどころ、鹿の歩いたトレースを利用させても
らうが、親離れをした小鹿の群れだろうか、辺り一面
に小さな鹿の足跡が広がっている、笹の葉を食べてい
る様で1枚も残っていない。鹿達の貴重な食料の一つ
になっている様です。



11:00 山頂 着。

気温プラス5℃。初登頂記念に全員でカメラに収まり、
しばしの休憩。

11:10 下山開始。

数メートル下ると、しばらくは穏やかな尾根歩きが
続く。湖畔にある氷濤まつりの氷像が青白く輝いて見
えている。ここまでは何の問題もなく降りるが、急斜
面にさしかかるとサラサラ雪に足を掬われ、転がる者
あり、尻もちをつく者あり、そのまま尻滑りする者あ
り、穴にはまる者ありでもう大変!!

雪と戯れ、大笑いで標高315mまで降りる。

11:55 昼食。

気がつくと、太陽が顔を出し、青空が広がっていた。
風も無く、穏やかでツエルトを張らずに昼食となる。

気温はプラス10℃。



12:20 下山開始。

12:50 登山口にある駐車場着(途中、トイレ立ち寄
り)。やれやれの楽しい山行でした。

シリセツナイ山のネーミングの由来を何となく感じ
取ることが出来ました。



13:40 リーダーの配慮で氷濤まつりを観光して苦小
牧組と別れて、いつもの温泉に入り帰路につきました。

計画してくれたリーダーをはじめ、皆さんありがと
うございました。

(八重樫 記)